

発達障害者のワークシステム・サポートプログラム
問題解決技能トレーニングの改良

はじめに

障害者職業総合センター職業センターでは、平成 17 年度から、知的障害を伴わない発達障害のある方を対象とした「発達障害者のワークシステム・サポートプログラム」を実施し、発達障害者に対する職業リハビリテーション技法の開発・改良を進めてきました。その開発成果については、継続して、実践報告書や支援マニュアルに取りまとめるとともに、職業リハビリテーション研究・実践発表会を始めさまざまな機会をとおして発信しています。

本報告書で取り上げた「問題解決技能トレーニング」の支援技法は、平成 17 年度実践報告書「発達障害者のワークシステム・サポートプログラムとその支援技法」で、アメリカで開発された発達障害者のための SOCCSS（ソックス）法を主としてグループワークで行うものとして援用し、平成 24 年度支援マニュアル No. 8「発達障害者のための問題解決技能トレーニング」に取りまとめ、地域障害者職業センターを始めとする全国の支援機関等に配布するとともに、支援者を対象とした講習を行いながらその普及に努めてきました。

そうした結果、問題解決技能トレーニングは現在では多くの就労支援機関で活用されるようになりましたが、支援現場からは集団トレーニングだけではなく、ジョブコーチ支援や個別相談等の個別の支援において活用する方法を知りたいといった要望や意見を頂くようにもなりました。

このため、平成 30 年度より個別の支援において活用できる問題解決技能の技法開発の改良に取り組み、その成果を実践報告書として取りまとめました。

なお、本技法開発にあたり、SOCCSS 法全般について北海道教育大学教授 萩原 拓氏、問題解決療法について信州大学准教授 高橋 史氏から、それぞれの専門的知見に基づき、ご助言を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

本報告書が、就労支援を担う方々に熟読いただき、発達障害者の方々のスキル習得に有用に活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

令和 2 年 3 月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター職業センター
職業センター長 望 月 春 樹